

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
設定日	2015年5月12日
信託期間	2015年5月12日～2025年5月12日（約10年）
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主として、残存期間が7～10年程度のカナダ国債に投資し、原則として、各残存期間毎の投資金額がほぼ同額程度となるような運用を行い、信託財産の成長を目指します。カナダ国債の実質組入比率は、原則として高位を保ちます。実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	7～10年カナダ国債ラダー・ファンド ーメープル7ー（為替ヘッジなし） ・7～10年カナダ国債ラダー・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 7～10年カナダ国債ラダー・マザーファンド ・カナダ国債を主要投資対象とします。
投資制限	7～10年カナダ国債ラダー・ファンド ーメープル7ー（為替ヘッジなし） ・株式への実質投資は行いません。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 7～10年カナダ国債ラダー・マザーファンド ・株式への投資は行いません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎年5月、11月の11日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、収益分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。 * 分配金再投資コースの場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 運用報告書についてのお問い合わせ  
フリーダイヤル 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

# 運用報告書（全体版）

第8期

決算日 2019年5月13日

## 7～10年カナダ国債ラダー・ファンド ーメープル7ー（為替ヘッジなし）

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて「7～10年カナダ国債ラダー・ファンド ーメープル7ー（為替ヘッジなし）」は、去る2019年5月13日に第8期の決算を行いました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

（旧：大和住銀投信投資顧問）  
〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

# 7-10年カナダ国債ラダー・ファンド ーメープル7ー（為替ヘッジなし）

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			カナダ10年国債 利回り (参考指数)	公社債 組入比率	債券先物 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税 分 配	込 金 騰 落 率				
	円	円	%	%	%	%	百万円
第4期(2017年5月11日)	8,615	25	5.1	1.6390	98.4	—	1,849
第5期(2017年11月13日)	8,982	25	4.6	1.9690	98.5	—	709
第6期(2018年5月11日)	8,357	25	△ 6.7	2.3970	98.7	—	660
第7期(2018年11月12日)	8,381	25	0.6	2.5050	97.1	—	662
第8期(2019年5月13日)	8,478	25	1.5	1.7330	98.4	—	489

\* 基準価額の騰落率は分配金込み

\* 先物組入比率は、買建比率-売建比率

\* 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、各組入比率は実質組入比率を記載しています。

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		カナダ10年国債 利回り (参考指数)	公社債 組入比率	債券先物 組入比率
	騰落率	騰落率			
	円	%	%	%	%
(期首)2018年11月12日	8,381	—	2.5050	97.1	—
11月末	8,429	0.6	2.3050	98.4	—
12月末	8,278	△ 1.2	1.9940	99.0	—
2019年1月末	8,451	0.8	1.9140	98.9	—
2月末	8,613	2.8	1.9150	98.8	—
3月末	8,690	3.7	1.5610	72.0	—
4月末	8,649	3.2	1.7040	98.3	—
(期末)2019年5月13日	8,503	1.5	1.7330	98.4	—

\* 騰落率は期首比です。

\* 期末基準価額は分配金込み

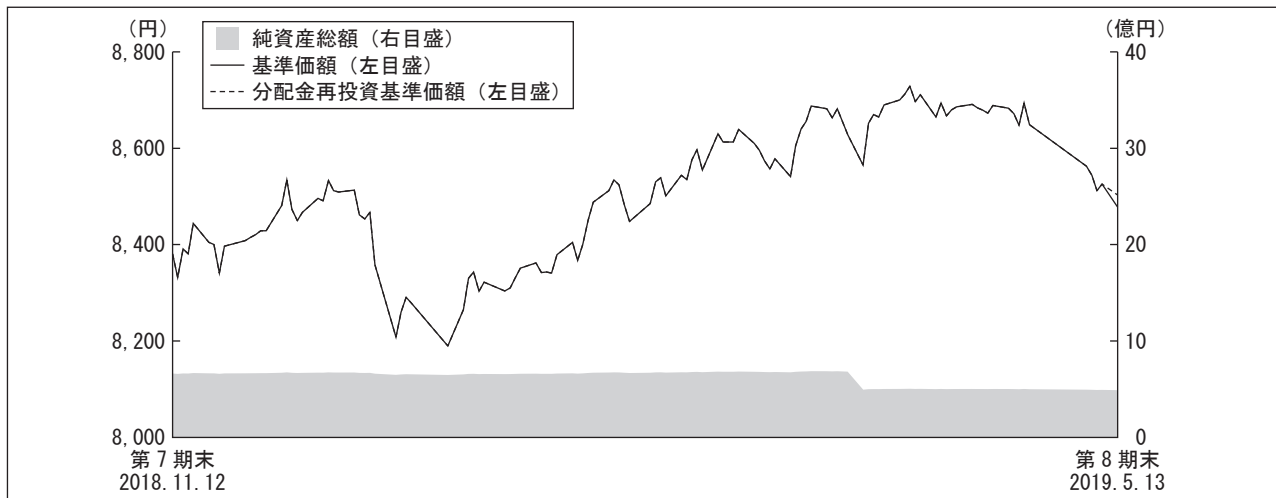
\* 先物組入比率は、買建比率-売建比率

\* 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、各組入比率は実質組入比率を記載しています。

# 7-10年カナダ国債ラダー・ファンド ーメープル7ー（為替ヘッジなし）

## 運用経過

### 【基準価額等の推移】



\*当ファンドにはベンチマークはありません。

\*分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を基準に算出しております。

\*分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

第8期首： 8,381円

第8期末： 8,478円（既払分配金 25円）

騰落率： +1.5%（分配金再投資ベース）

### 【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、7-10年カナダ国債ラダー・マザーファンドへの投資を通じて、主として、残存期間が7～10年程度のカナダ国債に投資し、各残存期間毎の投資金額がほぼ同額程度となるような運用を行いました。（上昇要因）

債券からのインカムゲインや債券価格の上昇によるキャピタルゲインが、基準価額の主な上昇要因となりました。

（下落要因）

対円でのカナダドルの下落が、基準価額の主な下落要因となりました。

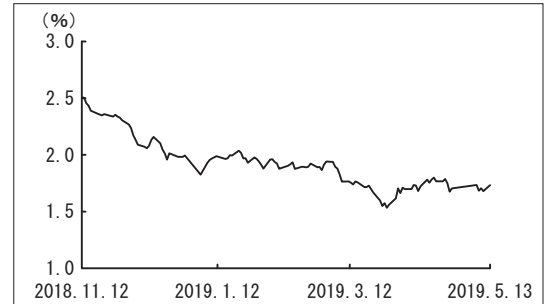
## 7-10年カナダ国債ラダー・ファンド ーメープル7-（為替ヘッジなし）

### 【投資環境】

当期のカナダ国債相場は上昇し、金利は低下しました。期前半のカナダ国債相場は、グローバルな景気減速懸念が意識されたことや原油価格が2018年末にかけて下落したことを受けて、金利は低下する展開となりました。その後も、カナダのGDP（国内総生産）が市場予想対比で下振れたことや、BOC（カナダ銀行：中央銀行）が利上げに対し慎重な姿勢を強めたことなどを材料に、金利は低下する場面が見られました。期末にかけても金利低下圧力は残りましたが、一方でグローバルな景気減速懸念が後退する場面が見られたことや原油価格が上昇したことが金利上昇圧力となったことで、カナダ国債相場は方向感のない推移となりました。

カナダドル円相場は、原油相場が堅調な推移となる場面などでは一時的に上昇しましたが、グローバルな景気減速懸念やBOCが利上げに対し慎重な姿勢を強めたことなどを背景に、下落する展開となりました。

カナダ10年国債利回りの推移



### 【ポートフォリオ】

#### ■ 7-10年カナダ国債ラダー・ファンド ーメープル7-（為替ヘッジなし）

主要投資対象である7-10年カナダ国債ラダー・マザーファンドを期を通じて高位に組み入れ、期末の実質的な公社債組入比率は98.4%としました。

#### ■ 7-10年カナダ国債ラダー・マザーファンド

当期の騰落率は、+1.7%となりました。

残存期間が7~10年程度のカナダ国債に投資し、残存期間毎の投資金額がほぼ同額程度となるように維持しました。

為替要因では、カナダドルが対円で下落したことが円ベースのパフォーマンスにマイナスに作用しました。

### 【ベンチマークとの差異】

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。カナダ10年国債利回りを参考指数としているため、当ファンドの基準価額の騰落率との対比をしておりません。

## 7-10年カナダ国債ラダー・ファンド ーメープル7-（為替ヘッジなし）

### 【分配金】

収益分配金は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、1万口当たり25円（税込み）とさせて頂きました。なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

### ■分配原資の内訳

（1万口当たり・税引前）

項目	第8期	
	2018年11月13日 ～2019年5月13日	
当期分配金	(円)	25
(対基準価額比率)	(%)	0.29
当期の収益	(円)	25
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	265

※円未満を切り捨てしているため、「当期分配金」は「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計額と一致しない場合があります。

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 今後の運用方針

### ■7-10年カナダ国債ラダー・ファンド ーメープル7-（為替ヘッジなし）

引き続き、運用の基本方針に従い、マザーファンドへの投資を通じて、主として、残存期間が7～10年程度のカナダ国債に投資し、残存期間毎の投資金額がほぼ同額程度となるように維持する方針です。

### ■7-10年カナダ国債ラダー・マザーファンド

カナダでは、BOCによる政策金利の引き上げバイアスが後退し、他の主要国の中央銀行と同様に金融政策に対する慎重姿勢への転換が見られており、カナダ国債相場に対する下落圧力は限定されるものと想定しています。

残存期間が7～10年程度のカナダ国債に投資し、残存期間毎の投資金額がほぼ同額程度となるように維持する方針です。

# 7-10年カナダ国債ラダー・ファンド ーメープル7-（為替ヘッジなし）

## 1万口当りの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2018年11月13日～2019年5月13日		
	金額	比率	
信託報酬	20円	0.232%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8,518円です。
（投信会社）	（9）	（0.108）	ファンドの運用等の対価
（販売会社）	（9）	（0.108）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	（1）	（0.016）	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
その他費用	1	0.012	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	（1）	（0.006）	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	（0）	（0.005）	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	（0）	（0.001）	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	21	0.244	

\*「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

\*期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

\*各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

（2018年11月13日から2019年5月13日まで）

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
7-10年カナダ国債ラダー・マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 208,816	千円 187,129

## 利害関係人との取引状況等

（2018年11月13日から2019年5月13日まで）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## 7-10年カナダ国債ラダー・ファンド ーメープル7-（為替ヘッジなし）

### 自社による当ファンドの設定・解約状況

（2018年11月13日から2019年5月13日まで）

期首残高（元本）	当期設定元本	当期解約元本	期末残高（元本）	取引の理由
百万円 1	百万円 -	百万円 -	百万円 1	当初設定時における取得

### 組入資産の明細

2019年5月13日現在

#### ■親投資信託残高

	期首（前期末）	当 期		末
	口 数	口 数	口 数	評 価 額
7-10年カナダ国債ラダー・マザーファンド	千口 765,805	千口 556,989	千口 492,657	千円 492,657

\* 7-10年カナダ国債ラダー・マザーファンド全体の受益権口数は、1,629,961千口です。

### 投資信託財産の構成

2019年5月13日現在

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
7-10年カナダ国債ラダー・マザーファンド	千円 492,657	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	492,657	100.0

\*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1カナダ・ドル=81.68円

\* 7-10年カナダ国債ラダー・マザーファンド

当期末における外貨建資産（1,421,656千円）の投資信託財産総額（1,441,681千円）に対する比率 98.6%

# 7-10年カナダ国債ラダー・ファンド ーメープル7ー（為替ヘッジなし）

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年5月13日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	492,657,168円
7-10年カナダ国債ラダー・マザーファンド (評価額)	492,657,168
(B) 負 債	2,920,169
未 払 収 益 分 配 金	1,444,157
未 払 信 託 報 酬	1,442,551
そ の 他 未 払 費 用	33,461
(C) 純資産総額 (A-B)	489,736,999
元 本	577,663,192
次 期 繰 越 損 益 金	△ 87,926,193
(D) 受益権総口数	577,663,192口
1万口当り基準価額 (C/D)	8,478円

\*元本状況

期首元本額	790,408,404円
期中追加設定元本額	0円
期中一部解約元本額	212,745,212円

\*元本の欠損 87,926,193円

## 損益の状況

自2018年11月13日  
至2019年5月13日

項 目	当 期
(A) 有価証券売買損益	8,512,312円
売 買 益	13,765,465
売 買 損	△ 5,253,153
(B) 信託報酬等	△ 1,476,012
(C) 当期損益金 (A+B)	7,036,300
(D) 前期繰越損益金	△ 43,954,283
(E) 追加信託差損益金	△ 49,564,053
(配当等相当額)	( 3,033,899)
(売買損益相当額)	(△ 52,597,952)
(F) 計 (C+D+E)	△ 86,482,036
(G) 収益分配金	△ 1,444,157
次期繰越損益金 (F+G)	△ 87,926,193
追加信託差損益金	△ 49,564,053
(配当等相当額)	( 3,033,899)
(売買損益相当額)	(△ 52,597,952)
分配準備積立金	12,282,342
繰越損益金	△ 50,644,482

\*有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

\*信託報酬等には、消費税等相当額を含めて表示しております。

\*追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

<分配金の計算過程>

信託約款に基づき計算した収益分配可能額及び収益分配金の計算過程は以下のとおりです。

(A) 配当等収益(費用控除後)	3,102,959円
(B) 有価証券売買等損益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0
(C) 収益調整金	3,033,899
(D) 分配準備積立金	10,623,540
分配可能額 (A+B+C+D)	16,760,398
(1万口当り分配可能額)	( 290.14)
収益分配金	1,444,157
(1万口当り収益分配金)	( 25)



# 7-10年カナダ国債ラダー・ファンド ーメープル7ー（為替ヘッジなし）

## 分配金のお知らせ

1万口当り分配金（税込み）	25円
---------------	-----

### ■分配金のお支払いについて

分配金のお支払いは決算日から起算して5営業日までに開始いたします。

### ■課税上のお取扱いについて

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金は20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。なお、確定申告を行い、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。

※法人の受益者の場合、税率が異なります。

※税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

※課税上のお取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## お知らせ

大和住銀投信投資顧問株式会社は、2019年4月1日に三井住友アセットマネジメント株式会社と合併し、三井住友DSアセットマネジメント株式会社となりました。

委託会社の合併に伴い、ファンドの委託者の商号ならびに公告の方法を変更することに伴う所要の約款変更を行いました。（2019年4月1日付）

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。

# 7－10年カナダ国債ラダー・マザーファンド

## 運用報告書

決算日：2019年5月13日

(第8期：2018年11月13日～2019年5月13日)

当ファンドは、上記の通り決算を行いました。ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	主として、残存期間が7～10年程度のカナダ国債に投資し、原則として、各残存期間毎の投資金額がほぼ同額程度となるような運用を行い、信託財産の成長を目指します。
主要運用対象	カナダ国債を主要投資対象とします。
投資制限	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 株式への投資は行いません。</li><li>・ 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</li></ul>



三井住友DSアセットマネジメント

(旧：大和住銀投信投資顧問)  
〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

## 7-10年カナダ国債ラダー・マザーファンド

### 最近5期の運用実績

決算期	基準価額		カナダ10年国債 利回り (参考指数)	公社債 組入比率	債券先物 組入比率	純資産 総額
	円	騰落率				
第4期(2017年5月11日)	8,798	5.3	1.6390	97.8	—	3,493
第5期(2017年11月13日)	9,221	4.8	1.9690	97.9	—	2,975
第6期(2018年5月11日)	8,625	△ 6.5	2.3970	98.2	—	2,560
第7期(2018年11月12日)	8,697	0.8	2.5050	96.6	—	2,090
第8期(2019年5月13日)	8,845	1.7	1.7330	97.8	—	1,441

\*先物組入比率は、買建比率-売建比率

### 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		カナダ10年国債 利回り (参考指数)	公社債 組入比率	債券先物 組入比率
	円	騰落率			
(期首)2018年11月12日	8,697	—	2.5050	96.6	—
11月末	8,749	0.6	2.3050	98.3	—
12月末	8,595	△ 1.2	1.9940	98.9	—
2019年1月末	8,779	0.9	1.9140	98.8	—
2月末	8,950	2.9	1.9150	98.7	—
3月末	9,034	3.9	1.5610	71.8	—
4月末	8,995	3.4	1.7040	98.0	—
(期末)2019年5月13日	8,845	1.7	1.7330	97.8	—

\*騰落率は期首比です。

\*先物組入比率は、買建比率-売建比率

## 運用経過

### 【基準価額等の推移】

期首：8,697円

期末：8,845円

騰落率：+1.7%

### 【基準価額の主な変動要因】

(上昇要因)

債券からのインカムゲインや債券価格の上昇によるキャピタルゲインが、基準価額の主な上昇要因となりました。

(下落要因)

対円でのカナダドルの下落が、基準価額の主な下落要因となりました。

### 【投資環境】

当期のカナダ国債相場は上昇し、金利は低下しました。前半のカナダ国債相場は、グローバルな景気減速懸念が意識されたことや原油価格が2018年末にかけて下落したことを受けて、金利は低下する展開となりました。その後も、カナダのGDP（国内総生産）が市場予想対比で下振れたことや、BOC（カナダ銀行：中央銀行）が利上げに対し慎重な姿勢を強めたことなどを材料に、金利は低下する場面が見られました。期末にかけても金利低下圧力は残りましたが、一方でグローバルな景気減速懸念が後退する場面が見られたことや原油価格が上昇したことが金利上昇圧力となったことで、カナダ国債相場は方向感のない推移となりました。

カナダドル円相場は、原油相場が堅調な推移となる場面などでは一時的に上昇しましたが、グローバルな景気減速懸念やBOCが利上げに対し慎重な姿勢を強めたことなどを背景に、下落する展開となりました。

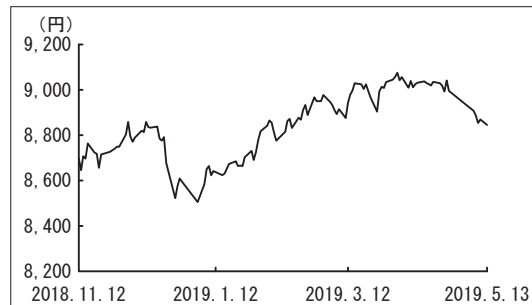
### 【ポートフォリオ】

当期の騰落率は、+1.7%となりました。

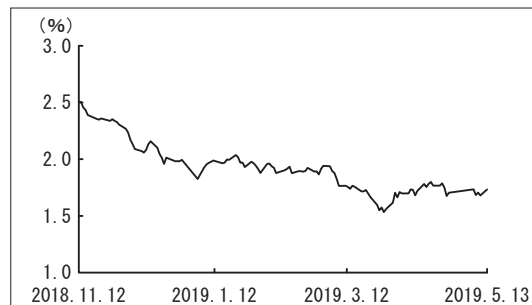
残存期間が7～10年程度のカナダ国債に投資し、残存期間毎の投資金額がほぼ同額程度となるように維持しました。

為替要因では、カナダドルが対円で下落したことが円ベースのパフォーマンスにマイナスに作用しました。

基準価額の推移



カナダ10年国債利回りの推移



# 7～10年カナダ国債ラダー・マザーファンド

## 今後の運用方針

カナダでは、BOCによる政策金利の引き上げバイアスが後退し、他の主要国の中央銀行と同様に金融政策に対する慎重姿勢への転換が見られており、カナダ国債相場に対する下落圧力は限定されるものと想定しています。

残存期間が7～10年程度のカナダ国債に投資し、残存期間毎の投資金額がほぼ同額程度となるように維持する方針です。

## 1万口当りの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2018年11月13日～2019年5月13日		
	金額	比率	
その他費用 (保管費用)	1円 (1)	0.007% (0.006)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
(その他)	(0)	(0.001)	
合計	1	0.007	
期中の平均基準価額は8,850円です。			

\* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 円未満は四捨五入しています。

## 売買及び取引の状況

(2018年11月13日から2019年5月13日まで)

### ■ 公社債

			買付額	売付額
外国	カナダ	国債証券	千カナダ・ドル 894	千カナダ・ドル 8,690

\* 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

# 7-10年カナダ国債ラダー・マザーファンド

## 主要な売買銘柄

(2018年11月13日から2019年5月13日まで)

### ■ 公社債

当			期		
買	付	金額	売	付	金額
銘柄	銘柄	金額	銘柄	銘柄	金額
		千円			千円
CANADIAN GOVERNMENT 1.5	06/01/26	28,449	CANADIAN GOVERNMENT 2	06/01/28	241,110
CANADIAN GOVERNMENT 2	06/01/28	24,513	CANADIAN GOVERNMENT 1	06/01/27	239,260
CANADIAN GOVERNMENT 1	06/01/27	21,997	CANADIAN GOVERNMENT 1.5	06/01/26	237,798

\*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

## 利害関係人との取引状況等

(2018年11月13日から2019年5月13日まで)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## 組入資産の明細

2019年5月13日現在

### ■ 公社債

#### A 債券種類別開示

#### 外国（外貨建）公社債

区 分	当				期		末		
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率			
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満	
カ ナ ダ	千カナダ・ドル	千カナダ・ドル	千円	%	%	%	%	%	
	17,508	17,260	1,409,877	97.8	—	97.8	—	—	
合 計	—	—	1,409,877	97.8	—	97.8	—	—	

\*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合

\*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

## 7-10年カナダ国債ラダー・マザーファンド

### B 個別銘柄開示 外国（外貨建）公社債

銘柄	当期末					
	種類	利率	額面金額	評価額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(カナダ・ドル…カナダ)		%	千カナダ・ドル	千カナダ・ドル	千円	
CANADIAN GOVERNMENT	国債証券	1.5000	5,823	5,756	470,195	2026/06/01
CANADIAN GOVERNMENT	国債証券	1.0000	6,085	5,766	471,003	2027/06/01
CANADIAN GOVERNMENT	国債証券	2.0000	5,600	5,737	468,678	2028/06/01
合計	—	—	17,508	17,260	1,409,877	—

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

## 投資信託財産の構成

2019年5月13日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
公社債	千円 1,409,877	% 97.8
コール・ローン等、その他	31,803	2.2
投資信託財産総額	1,441,681	100.0

\* 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1 カナダ・ドル=81.68円

\* 当期末における外貨建資産（1,421,656千円）の投資信託財産総額（1,441,681千円）に対する比率 98.6%

# 7-10年カナダ国債ラダー・マザーファンド

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年5月13日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,441,681,408円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	20,412,804
公 社 債 (評価額)	1,409,877,975
未 収 入 金	1,899,923
未 収 利 息	9,294,427
前 払 費 用	196,279
(B) 負 債	105
そ の 他 未 払 費 用	105
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	1,441,681,303
元 本	1,629,961,540
次 期 繰 越 損 益 金	△ 188,280,237
(D) 受 益 権 総 口 数	1,629,961,540口
1 万 口 当 り 基 準 価 額 (C/D)	8,845円

\*元本状況

期首元本額	2,404,005,233円
期中追加設定元本額	70,926,761円
期中一部解約元本額	844,970,454円

\*元本の内訳

7-10年カナダ国債ラダー・ファンド - メーブル7- (為替ヘッジあり)	1,072,972,090円
7-10年カナダ国債ラダー・ファンド - メーブル7- (為替ヘッジなし)	556,989,450円

\*元本の欠損 188,280,237円

## 損益の状況

自2018年11月13日  
至2019年5月13日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	14,491,357円
受 取 利 息	14,498,469
支 払 利 息	△ 7,112
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	34,191,332
売 買 益	136,932,433
売 買 損	△ 102,741,101
(C) そ の 他 費 用	△ 133,530
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	48,549,159
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 313,252,975
(F) 解 約 差 損 益 金	84,496,762
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 8,073,183
(H) 計 (D+E+F+G)	△ 188,280,237
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	△ 188,280,237

\*有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

\*解約差損益金とは、一部解約時の解約金額と元本の差額をいい、元本を下回る額は利益として、上回る額は損失として処理されます。

\*追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

## お知らせ

委託会社の合併に伴い、ファンドの委託者の商号ならびに公告の方法を変更することに伴う所要の約款変更を行いました。(2019年4月1日付)

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。